

3 リサイクルシールの有料化

2011年1月以降の製造品全てにリサイクルシールを貼付け、有料化が本格始動致します。

※既設品の廃棄・回収には、別途リサイクルシールが必要です。



新旧・器種対応表

薬剤	薬剤質量	バーストレス™ (蓄圧式)	旧・器種名	新・器種名	用途	薬剤	薬剤質量	バーストレス™ (蓄圧式)	旧・器種名	新・器種名		
粉末ABC	1.0kg		SP-3X	CUP-3	住宅用	ピュアウォーター	3.0L	●	PW-3SX	PWE-3S		
	1.2kg	●	SPC-4XII	PEP-4		機械泡	3.0L	●	LWE-3SX	MFE-3S		
			SP-4X	CUP-4		6.0L	●	LWEAII-6SX	ARMFE-6S			
	1.5kg		SP-5X	CUP-5		化学泡	96L		100-L	CF-100		
	2.0kg	●	SPC-6XII	PEP-6		200L		200-L	CF-200			
			SP-6X	CUP-6		二酸化炭素	2.3kg		HC-5	CG-5		
	3.0kg	●	SPC-10XII	PEP-10			3.2kg		HC-7	CG-7		
			SPC-10V	PP-10C			4.6kg		HC-10	CG-10		
	3.5kg	●	SP-10X	CUP-10C			6.8kg		HC-15	CG-15		
			6.0kg	●		DPC-10X	PEP-10D	自動車用	粉末ABC	1.0L	●	NR-1M
	DPC-10SX	PEP-10DS				1.5L	●			NR-1K	ALS-1RH	
	20.0kg	●	DPC-20X	PEP-20		車両用	強化液	1.5kg	●	AP-5e	PEP-5R	
			DPC-20SX	PEP-20S				2.0kg	●	KSPC-4X	PEP-4V	
			40kg	●				DPC-50X	PEP-50	3.5kg	●	KDP-10A
DPC-50SX					PEP-50S			6.0kg	●	KDP-20A	CEP-20V	
55kg	●	DP-100N	CSP-100	船舶用	粉末ABC	3.5L	●	JNR-4X	ALS-4T			
						1.0kg	●	CSP-3X	CSP-3X			
強化液	3.0L	●	NR-3X	ALS-3	船舶用	二酸化炭素	5.0kg	●	SDP-17X	SDP-17X		
			NR-3SX	ALSE-3S			—	—	SDPC-17X	SDPC-17X		
	6.0L	●	NR-6X	ALS-6			23kg	●	—	—	SDP-55	SDP-55
			NR-6SX	ALSE-6S			45kg		SDP-100HP	SDP-100HP		
	8.0L	●	NR-8X	ALS-8			40kg		SDP-100	SDP-100		
			20L	●			NR-20N	ALS-20	5.0kg		SHC-11	SHC-11
60L	●	NR-60N	ALS-60	9.0L		SFS-10	SFS-10					
中性強化液	2.0L	●	TRE-2SX	NLSE-2S	化学泡	45L		45-L	45-L			
			TRE-3SX	NLSE-3S		136L		136L	136-L			
	3.0L	●	STR-3SX	NNLSE-3S		0.3kg	●	DD-30	DD-30			
			TRE-6SX	NLSE-6S		0.8kg	●	DD-80	DD-80			
6.0L	●	STR-6SX	NNLSE-6S	1.5kg	●	DD-150	DD-150					
金属火災用					微粉末	6kg	●	MX-20M	PMP-20			



2011年 消火器の省令改正等のポイント

1

規格改正による型式失効[※]

2011年1月1日から、消火器の表示ラベルの規格が変更になり、2022年からは旧型式の消火器は設置不可となります。

2

点検基準改正

2011年4月1日から、製造後10年を経過したものは耐圧性能点検(水圧試験)が必要となります。

3

リサイクルシール有料化

2011年1月1日から、リサイクルシールの有料化が本格始動となります。

※型式失効とは

規格省令等の改正により、既に型式承認を受けた機器の形状等が規格に適合しなくなり、型式承認の効力を失うことをいいます。(消火器と認められなくなります)
前回の型式失効は'92年に実施されており、その後製造された約6,700万本が型式失効の対象となります。

バーストレス™
(蓄圧式)だから、
より安全

ゲージ付で
あんしん



ハツタは、消火器の破裂事故を根絶するべく、
オール蓄圧化を目指しています。

(ご用命は...)

サービスを真心でお届けします。

●製品改良・改善のため、仕様その他を予告なく変更することがありますので、予めご了承ください。

チャレンジ
未来が変わる。
日本が変わる。

25

VEGETABLE OIL INK

このカタログは環境に負担をかけないというハツタの企業理念を実践するため、FSC™ 認証紙と非食用とされる植物油を原料としたインクを使用して印刷されています。

ISO 9001
JQA-QM3671

ISO 14001
JQA-EM2837

株式会社 初田製作所

表005 1110-30,000S-S

1 規格改正による型式失効 (2011年1月1日施行)

2011年1月1日から、消火器の表示ラベルの規格が変更になり、2012年1月1日に旧型式の消火器は型式失効となります。(特例期間は、2021年12月31日まで)

■省令改正の背景

改正の目的は、「消火器の破裂事故防止」です。

破裂事故発生 = 加圧式 + 無点検 + 長期放置

破裂したのは、老朽化した「加圧式消火器」です。

消防庁が発表した「過去10年間の消火器事故」は全て加圧式消火器です。

写真は加圧式消火器です。炭酸ガスボンベから本体容器全体に大きな圧力が急激にかかって容器を破壊。溶接部分から錆が発生。ここが破壊。

※平成11年12月～平成21年9月までの10年間

加圧式とバーストレス™(蓄圧式)の比較

加圧式
炭酸ガスボンベを内蔵
二酸化炭素加圧式は、内部に炭酸ガスボンベを内蔵し、レバーを操作することによりボンベを破封し、その圧力により、消火薬剤を放出します。

バーストレス™(蓄圧式)
加圧用ボンベ無し
常にクリーンな窒素ガスで蓄圧
窒素蓄圧式は、容器内部にあらかじめ窒素ガスを蓄圧しておき、レバー操作によりバルブを開き、消火薬剤を放出します。

■新ラベル表示のポイント

危険 破裂の恐れあり

- ガレキ・埃・変形・キャップ及び部品ゆがみ、脱落のあるものは絶対に使用しないでください。
- 分解しないでください。高圧の部分は専門業者又は記載されている電話番号にお問い合わせください。(お問い合わせ番号 ☎0120-92-2306)

警告 破裂の原因となる恐れあり

- 製造年から10年を過ぎたものは耐圧試験圧力値による水圧試験を実施してください。
- 6ヶ月ごとに法令で定められた点検を実施してください。
- 高熱し難い場所、湿気の多い場所、凍結や風雨にさらされる場所に設置しないでください。
- 濡れた床や地面に直接置かれてはいけません。
- 使用温度範囲を超える場所に設置しないでください。

警告 人身事故の恐れあり

- 人に近づいて放水操作をしないであらう。押戻回線の合符を引き起こす恐れがあります。
- 火元から3m以上離れたから放射を開始してください。
- 避難経路を確認しながら消火してください。

注意

- 消火器は初期消火の器具です。消火範囲には限りがあります。
- たみし放射はしないでください。使用できなくなります。
- 一度操作したものは、新品と交換または詰替えを行ってください。
- 高圧火災は、ラベルの表示マークと「取扱説明書」で確認してください。危険性によっては過・不適合があります。

HATSUTA PP-10C

国際規格に準じた適応火災の絵表示

使用方法②における消火器全体の絵表示

業務用消火器の表示 (家庭には住宅用消火器と明記)

設計標準使用期限 (製造年から10年) の表示

蓄圧式の消火器又は加圧式の消火器の区別

業務用消火器
粉末(ABC)消火器
設計標準使用期限
2021年まで
製造年 2011年
総質量 A:3・B:7・C
放射距離 3~6m (+20°C)
放射時間 約1.5分 (+20°C)
使用温度範囲 -30°C~+40°C
適合薬剤 当社製専用
薬剤質量 3.0 kg
消火器の区別 蓄圧式
耐圧試験圧力 2.00 MPa
型式番号 消第23-101号

株式会社 初田製作所
Made in China

- 耐圧性能点検実施に関する事項
- 使用時の安全な取扱いに関する事項
- 維持管理上の適切な設置場所に関する事項
- 点検実施期間に関する事項
- 廃棄に関する事項

上記、任意で表記しておりましたが、今後は義務表記となります。

■型式失効と製品更新シミュレーション



2 点検基準改正 (2011年4月1日施行)

バーストレス™消火器(蓄圧式)の機器点検(内部及び機能)の開始時期を3年から5年とするともに、製造から10年を経過した消火器に対する耐圧性能点検(水圧試験)が義務付けられ、以後3年毎の水圧試験が必要となります。(二酸化炭素消火器及びハロゲン化物消火器を除く)

■機器点検(内部及び機能)

圧力方式	現在	変更後
蓄圧式	製造年から3年を経過したもの	製造年から5年(緩和)
加圧式	製造年から3年を経過したもの	製造年から3年(従来どおり)

■耐圧性能点検(水圧試験)

- 製造年から10年を経過したもの
- 外観点検において本体容器に腐食等が認められたもの
- 製造年から10年を経過したものは、経過措置により2014年3月31日までの間は抜取り方式により実施することができる

「消火器の耐圧性能」の項目が追加になります。

機能	サイホン管・ガス導入管	ろ過	網	放射能力
消火器の耐圧性能				
簡易消火用具				
外形				
水量等				

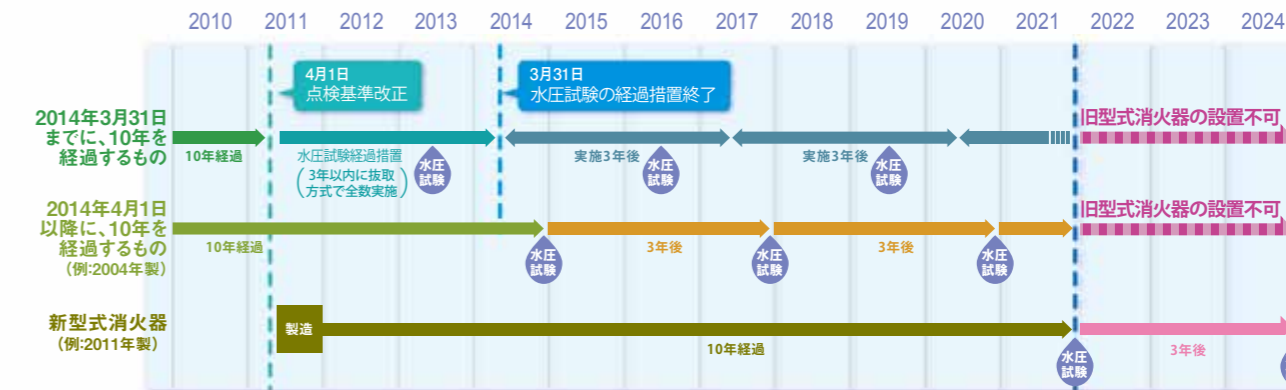
■キャップ・本体容器

所定の水圧をかけた場合において、変形、損傷又は漏水等がないこと。



水圧試験後、適切な処理を行わない場合、薬剤個化の恐れがあります。(水圧試験ビデオは弊社担当にお問い合わせ願います。)また、3年毎の水圧試験料金等を考えますと、弊社と致しましては新品交換をお勧めさせていただきます。

■水圧試験シミュレーション



■点検サイクルの比較

点検項目	バーストレス™(蓄圧式)													
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年
外観点検	半年毎に全数実施													
機器点検(内部及び機能)	不要※1					半年毎に10%実施(内50%以上放射) ※5年で全数					半年毎に20%実施(内50%以上放射) ※2.5年で全数			
水圧試験	不要※2					全数					不要※2		全数不要※2	

点検項目	加圧式※3													
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年
外観点検	半年毎に全数実施													
機器点検(内部及び機能)	不要※1					半年毎に10%実施(内50%以上放射) ※5年で全数					半年毎に20%実施(内50%以上放射) ※2.5年で全数			
水圧試験	不要※2					全数					不要※2		全数不要※2	

※1:外観点検で安全栓、安全栓の封又は繋結部等に異常が認められたものは必要です。
 ※2:外観点検で本体容器に腐食等が認められたものは必要です。
 ※3:上記「加圧式」の点検サイクル等は、粉末に限ります。(水・化学泡等を除く)